

第42期

事業報告書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで



WATABE
WEDDING

ワタベウェディング株式会社

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、有り難く御礼申し上げます。

ここに、当社第42期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）における事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当社グループは、国内外の挙式・衣裳・美容・写真・旅行・その他ブライダルに関わるあらゆるサービスを融合させ、ご提案する「トータル・ブライダル・ソリューション」という新しい業態の確立に全社を挙げて取り組んでおります。多様化・個性化するお客様のニーズにしっかりとお応えし、お客様のさまざまなご要望や課題の解決に努め、さらに「すてきさ」という付加価値をつけ、お客様の「心」を大切にすることがサービスの原点であると考えております。

このような考えのもとに、透明性の高い事業活動を行ない、社会に貢献できるよう全社一丸となって努めてまいりますので、引き続き変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月

代表取締役社長

渡部 隆夫

目次

□ ごあいさつ	1	□ 営業報告	11
□ 経営基本理念	2	□ 財務諸表の概要（連結）.....	13
□ 特集	3	□ 財務諸表の概要（単体）.....	15
□ グループ企業集団	7	□ 会社概要	16
□ 事業紹介	8	□ 株式情報	16
□ トピックス	9	□ 株主ご優待のお知らせ	17

ワタベウエディングは、 「世界最高のブライダル企業を目指します」

経営基本理念

わたくしたちの目的は、真心の奉仕と知恵ある提案を通じて、すてきな生活文化を創造し、心豊かな社会の実現に貢献することにある。

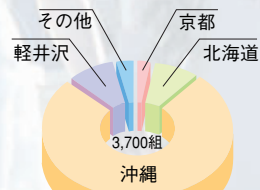
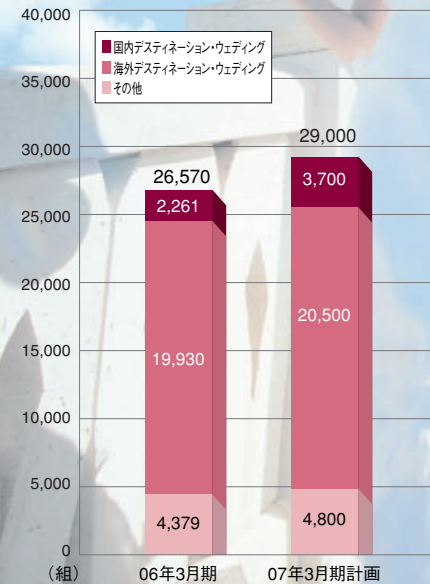
国内・海外リゾート施設網をフルに活かし 取り扱い挙式組数30,000組に挑戦します

当社グループは、1973年にハワイ・ホノルル店をオープンさせたことを皮切りに、他社に先駆け海外リゾートウェディングを提案、近年では大型挙式施設を含む国内リゾートウェディングにも展開を拡大しています。このような、リゾート地における「挙式の感動」と「旅行の楽しさ」をコラボレートさせた挙式スタイルである『デスティネーション・ウェディング』を開発し、今や「新しい生活文化」として定着するまでに育ててまいりました。

当社の提案する『デスティネーション・ウェディング』の素晴らしさは、その感動が旅行との相乗効果により、より長く、より深く持続するところにあります。

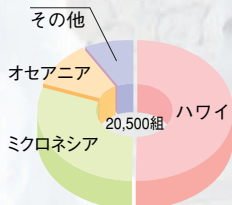
挙式や旅行に対するニーズが個性化・多様化する中、当社の基本理念でもある「知恵ある提案」を通じて、さらに魅力ある商品・サービスを開発し、国内外への展開を強化します。これにより来期は約2,500組の取り扱い挙式組数増加につなげ、グループ全体で総取り扱い挙式組数30,000組達成に挑戦します。

取り扱い挙式組数推移



当社の国内デスティネーション・ウェディングのエリア別内訳

国内デスティネーション・ウェディングに占める主要4エリア(京都・北海道・沖縄・新潟)の比率は96.5%です。



当社の海外デスティネーション・ウェディングのエリア別内訳

海外デスティネーション・ウェディングに占める主要3エリア(ハワイ・ミクロネシア・オセアニア)の比率は91.2%です。

～国内リゾートウェディング成長への取り組み～ 国内人気エリアの施設網完備

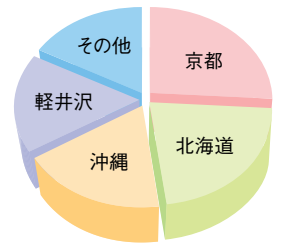
未婚者の「挙式をしたい場所(国内)」のトップ4は、京都・北海道・沖縄・新潟であり、この4地域ではほぼ全体の9割を占めています。*

当社グループでは、この京都・北海道・沖縄・新潟のリゾートウェディング人気エリアすべてに、直営挙式施設を展開しています。

国内リゾートウェディングを希望するお客様にはもちろんのこと、事情により海外リゾートウェディングをあきらめてしまったカップルにもご利用いただくことで、両者が競合することなく組数アップに貢献していきます。

※「既婚者・未婚者全国アンケート」当社調べより

国内リゾートウェディング人気エリア



当社の国内リゾート挙式施設開発状況

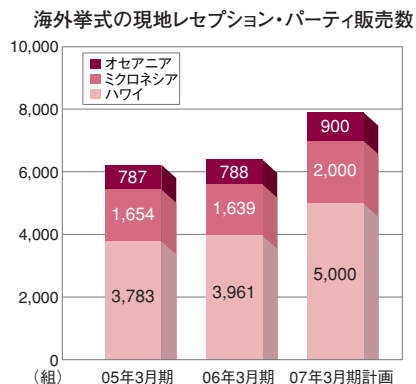


～海外リゾートウェディング成長への取り組み～ 海外主要3エリアのレセプション施設網完備

カジュアル志向を反映して、海外リゾートウェディングにおいても、ご親族だけでなく、親しい友人・知人も招くなど、挙式参加者が年々増加傾向にあります。

これに伴い、近年では現地レセプション・パーティ実施の要望がますます増えています。

当社グループではこのニーズを捉え、ハワイ、ミクロネシア、オセアニアの主要3エリアに、レセプション会場を備えた挙式施設、独立レセプション会場を展開しています。



当社の海外リゾートレセプション施設展開状況

1999	2001	2004	2005	2006
ハワイ 「オーシャンフロント・コロナ・ヴィラ」	ハワイ 「ホ・アオ」	オーストラリア ゴールドコースト 「アヴィカ ウェディング&リゾート」 改装	グアム 「テ・キエロ」	グアム 「ブルーアステール」 完成予想図
1999.5	2001.6	2004.5	2005.10	2006.12 オープン予定

～成長戦略とリスク回避への取り組み～ 上海ドレス工場に加え、ベトナムにドレス工場を新設



完成予想図



起工式



当社グループでは1993年に上海ドレス工場を設立し、13年を経てその生産は安定期に入っています。一方で、中国一極集中による中長期的なカントリーリスクや、為替変動リスク等、諸リスクの回避とコスト低減を企図して、新たにベトナム工場設立の経営判断をしました。ベトナム工場は2006年8月からの稼働を予定し、当社グループのウェディングドレス増産を図るとともに、今後ますます経済発展の見込める東アジア地域を中心とするグローバル市場に向けた生産拠点としても活用していきます。

上海工場で培ったノウハウを活かす「多能工生産方式」

ウェディングドレスの生産は、極めて複雑な工程を持つため、一般的にはパーツごとの熟練工が必要とされています。当社上海工場では、他社では真似のできない「多能工生産方式」を取り入れ、高い生産効率を上げています。

ベトナム工場では、上海で培ったノウハウに基づき、効率的な生産体制によるウェディングドレス増産を目指します。



上海工場



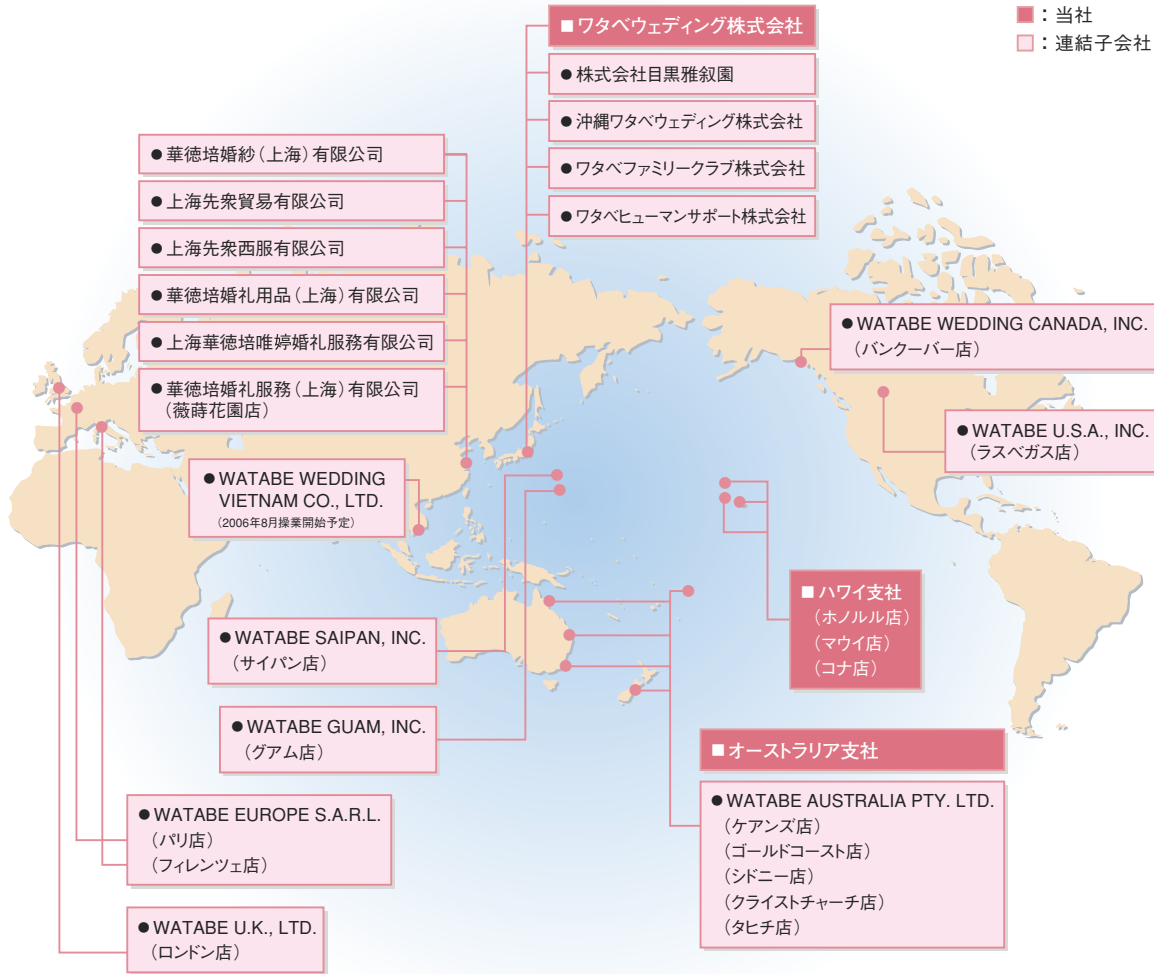
ドレス工場

ウェディングドレス製造工場の概要

	上海工場	ベトナム工場
建物(延床面積)	9フロア (14,000m ²)	2フロア (20,000m ²)
土地	5,250m ²	24,000m ²
生産可能着数	30,000着	40,000着

グループ企業集団

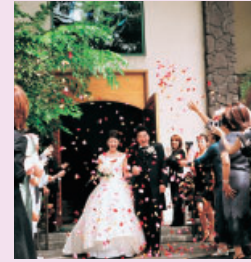
当社グループは、当社（海外2支社）および連結子会社22社（国内6社、海外16社）で構成され、国内および海外挙式サービスを中心にブライダルに関する情報・サービス・商品をトータルにご提供することを主たる事業としております。



※国内子会社の株式会社アルケ、東京ファミリークラブ株式会社および海外子会社のPT. WATABE BALIは休業中のため上図には記載していません。
※イタリアの海外子会社は清算手続中のため上図には記載していません。

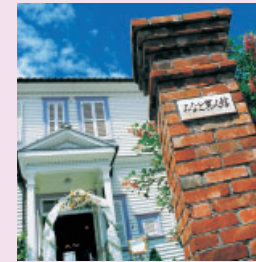
事業紹介

海外挙式サービス

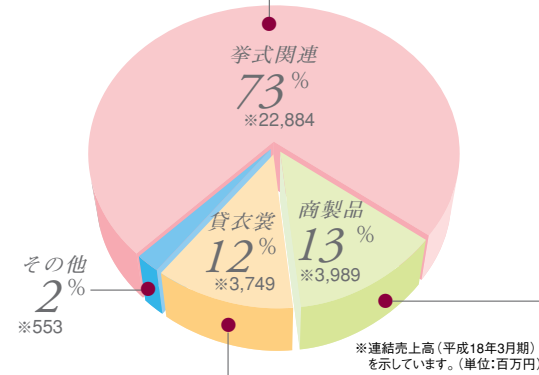


国内54店舗、海外17店舗のグローバルネットワークで海外17ヶ所の自社運営挙式施設を中心にサービスを提供。「日本人を海外へ」から「海外の人が地元で」、「海外の人を日本へ」と対象を拡大中。

国内挙式サービス



挙式スタイルの新提案としてのリゾートウェディングや都市型ウェディングに対応するため沖縄から北海道まで国内17ヶ所の自社運営挙式施設を中心にサービスを提供。

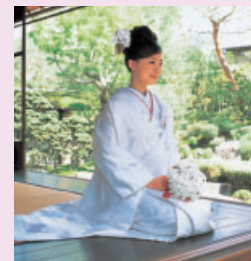


商製品



ドレス、タキシードは当社直営店で販売。タイムリーに顧客ニーズを分析し、新しいデザインを提供。また上海工場（「ISO9001」認証取得）製造を基盤にした製販一貫の体制を確立し、当社独自の高品質・高付加価値を実現。

衣裳レンタル



和装中心の婚礼衣裳や列席者用衣裳を低価格でレンタル。打掛、留袖、カラードレスはカタログで予約でき、国内店舗では海外着用のウェディングドレスを試着、予約できるサービスを充実。

写真サービス



挙式日前後の婚礼写真撮影や、成人式、卒業式、七五三などの記念写真撮影を貸衣裳、美容・着付とセットにしたオリジナルフォトサービスを提供。

トピックス

新エリアに国内店舗続々誕生

当社グループは、平成18年3月「熊本全日空ホテル ニュースカイ」内に「熊本店」を、平成18年4月「秋田キャッスルホテル」内に「秋田店」を、それぞれのホテルと婚礼事業で業務提携し、総合ブライダルショップとしてオープンしました。従来はホテル挙式のお客様にご提供できるサービスに限りがありましたが、両店舗では衣裳をご提供するのはもちろんのこと、写真、美容、海外挙式や国内挙式のプロデュース等、幅広い商品・サービスをトータルにご提供できるようになりました。



当社グループが取り組む「トータル・ブライダル・ソリューション」の推進を図るため、新しいエリアへの進出や商品・サービスを一貫してご提案することにより、あらゆるご要望にお応えてまいります。

「那覇店」移転増床オープン

平成18年7月、「那覇店」を那覇市街中心地に移転増床します。従来の衣裳や挙式相談スペースのほかに、写真スタジオを完備するとともに、新たに独立型チャペルを新設し収容人数50名を確保できる大型のパーティスペースを併設します。沖縄リゾート挙式カップルの受け入れ体制を強化するとともに、地元カップルの当社シェア拡大を図ります。



「ISO9001」の継続認証、挙式事業にも拡大

平成18年5月、品質マネジメントシステムの国際規格である「ISO9001」について、国内挙式事業にも拡大して認証を取得することができました。製造部門である中国・上海のドレス工場、サービスを提供する直営店舗に加え、直営国内挙式施設でも認証取得したことにより、当社が国内で提供する商品・サービス・挙式のすべてにおいて、国際的に定められた方法で品質水準を統一することができました。当社グループの役割と社会的責任を果たす上で必要不可欠であるとともに、今後とも継続的にサービス品質の向上に邁進してまいります。



「目黒雅叙園」リニューアル計画発表



「目黒雅叙園」は、昭和3年に創業以来、総合結婚式場として多くのお客様をお迎えしています。平成16年には当社グループの一員となり、ブライダルサービスの充実を図りました。平成18年4月には訪れたお客様にゆっくりとおくつろぎいただくために、広さ、数ともに総合結婚式場としては日本最大級となる花嫁専用お支度部屋として、80㎡以上の広さを持つブライズルーム30室をオープンいたしました。また、平成19年3月期には大規模なリニューアルプロジェクトとして、合計5室の宴会場改装を予定しており、すべてのお客様にご満足いただけるよう、「最高のおもてなし」を提案してまいります。



都会型リゾート挙式施設「ルミアモーレ」10月開業

株式会社目黒雅叙園は、東京・竹芝に都会型リゾート挙式施設「Lumiamore ルミアモーレ」を平成18年10月に開業いたします。同施設は、「光・海・愛」をコンセプトに、目黒雅叙園のブライダル事業における豊富なノウハウや経験を活かし、新しいベイサイドリゾートウェディングスタイルを提案し、年間約300組の婚礼組数獲得を目指します。同時に、東京都の重点事業「運河ルネッサンス」の取り組みと連携し、ブライダル事業を展開することで、地域活性化への貢献を図ります。



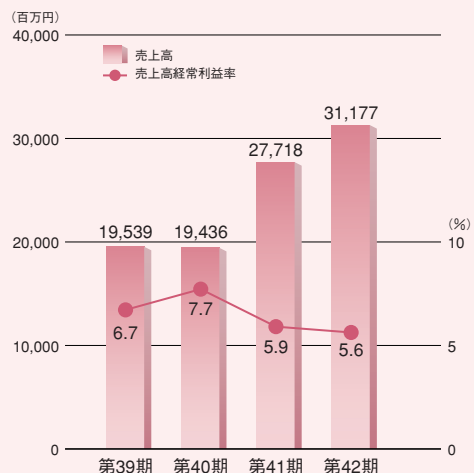
完成予想図



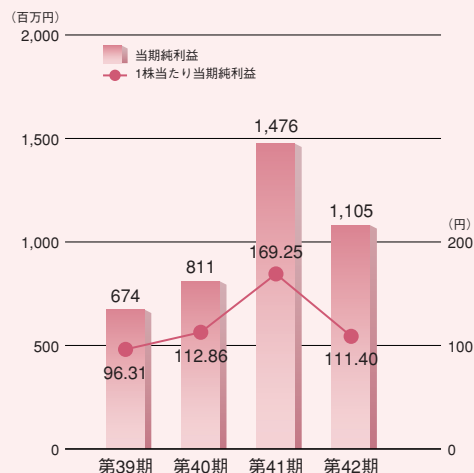
完成予想図

営業報告

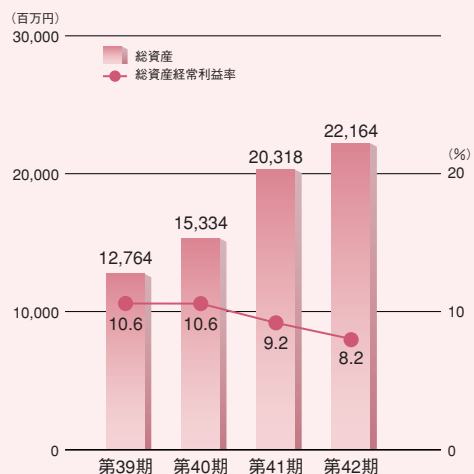
売上高/売上高経常利益率



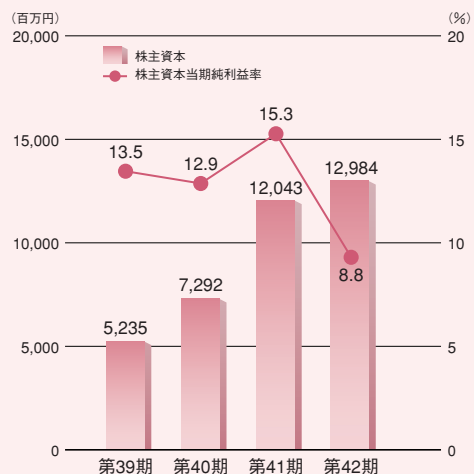
当期純利益/1株当たり当期純利益



総資産/総資産経常利益率



株主資本/株主資本当期純利益率



当ブライダル業界におきましては、出生率の低下に伴う急速な婚姻組数の減少が恒常的に進んでおり、平成17年の婚姻届出件数は71万3千組(前年72万5千組)となりました。一時期ブームの感を呈していた貸切型の邸宅風挙式も、同業者の乱立などにより伸び悩んでおり、お客様の嗜好の変化に確実に応ええる商品、サービスの提供に各社知恵を絞っております。

このような厳しい経営環境のなか、当社グループにおきましては、目黒雅叙園における本格的な挙式、ハワイ・マイクロネシアをはじめとする海外挙式、軽井沢・沖縄等における国内リゾート挙式を開発提案する一方、都市部においては簡易型挙式も提案し、衣裳・美容・着付・写真・旅行等々あらゆるサービスを融合させ、トータル・ブライダル・ソリューションという、今までにない業態の確立による「お客様満足度の向上」、「感動の最大化」の実現に向けて努力しております。

国内挙式戦略としては、平成17年6月、長野県軽井沢の旧軽井沢銀座に面した一等地に「軽井沢クリークガーデン・チャペル」を開堂し、全国の直営各店舗において軽井沢挙式の提案を開始しております。また、「目黒雅叙園」では、各披露宴会場のリニューアルを順次行う一方、ホテル客室の一部のブライズルームへの改装に着工いたしました。平成18年3月には、沖縄県石垣島に「クルデスール・チャペル」を開堂、オープン直後の1ヶ月で57組の挙式実行と好調な滑り出しとなりました。

海外挙式戦略としては、平成17年4月、オーストラリア・ケアンズの「バリアリーフ教会」を改修のうえ新たに開堂し、人気の教会として支持を得ております。同年10月にはグアム島タモンビーチ前にウェディング専用レセプション会場「テ・キエロ」をオープンし、挙式後のパーティ需要が旺盛となっており、活況を呈しております。さらに、平成18年1月には、株式会社レオバレス21がグアム島で運営

していた2教会を借り受けて、当社グループ直営の挙式会場として運営を始めました。

店舗展開戦略としては、トータル・ブライダル・ソリューションの推進として、平成17年7月に「福岡店」を総合店舗「福岡グランドプラザ」として、同年10月には「札幌店」を総合店舗「札幌グランドプラザ」として移転・増床し、より一層お客様の利便性の強化に努めております。また、平成18年3月、熊本県熊本市の「熊本全日空ホテル ニュースカイ」内に南九州地区初の総合ブライダルショップ「熊本本店」を、同年4月には秋田県秋田市の「秋田キャッスルホテル」内に「秋田店」をオープンし、当ホテル挙式者の衣裳サービスに加え、写真・美容・海外挙式・国内挙式など幅広いサービスの提供を開始いたしました。

商品戦略としては、和の挙式に対する若い人達の感性に合致した挙式スタイルとして開発した日本各地の有名神社仏閣における挙式プランが、年間200件を超えるまでに成長してまいりました。また、平成17年6月より衣裳カタログ通販システムの第3弾として、日本初の「カードレスレンタル」を開始いたしました。さらに、一歩進んだ新しいシステムとして、当社グループのブランドドレス「アヴィカ」を、お客様のご注文によって新品を製作し、挙式をされる現地でお渡ししてご着用いただくという製販一貫体制を敷く当社グループならではのサービスを開発し、同業他社との差別化を図っております。このシステムは平成17年12月から受注を開始して以来、好調に受注実績を積み上げております。

以上の結果、当社グループの当期業績は売上高31,177百万円(前期比12.5%増)、経常利益1,732百万円(同5.4%増)、当期純利益1,105百万円(同25.2%減)となりました。

財務諸表の概要(連結)

連結貸借対照表 (単位:千円)

科目	当期 (平成18年3月31日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	7,637,488	7,794,485
現金及び預金	5,039,470	5,534,574
売掛金	1,025,585	804,830
たな卸資産	782,416	661,037
前払費用	422,332	402,554
未収入金	89,205	98,432
繰延税金資産	201,673	144,820
その他	119,091	181,710
貸倒引当金	△42,288	△33,476
固定資産	14,527,265	12,524,422
有形固定資産	9,771,905	8,146,762
貸衣裳	235,711	261,335
1 建物及び構築物	5,899,261	4,578,349
1 器具備品	1,318,406	1,222,700
土地	1,730,326	1,763,932
その他	588,199	320,444
無形固定資産	559,548	225,622
投資その他の資産	4,195,811	4,152,037
投資有価証券	302,436	621,743
長期前払費用	220,303	259,618
差入保証金	2,751,101	2,532,259
繰延税金資産	404,143	220,104
再評価に係る繰延税金資産	364,431	364,431
その他	402,154	402,539
貸倒引当金	△248,759	△248,659
資産合計	22,164,753	20,318,907

point 1

挙式施設や営業店舗の新設・改装等で建物及び構築物、器具備品が1,416百万円増加しました。軽井沢パークガーデン、クルデスール・チャペル(石垣島)、テ・キエロ(グアム)等が主な増加施設です。

point 2

昨年6月の定時株主総会の日をもって、役員退職慰労金制度を廃止しました。これに伴い役員退職慰労金の未払額を「その他」に計上しています。

point 3

資本金、資本剰余金の増加はストックオプションの行使によるものです。

科目	当期 (平成18年3月31日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	6,267,099	6,115,330
買掛金	1,301,611	1,240,342
短期借入金	137,077	174,879
1年内返済予定長期借入金	797,500	1,345,600
未払金	1,001,196	840,116
前受金	1,997,522	1,849,492
賞与引当金	259,969	250,847
その他	772,222	414,052
固定負債	2,911,815	2,159,652
長期借入金	2,042,500	1,240,000
退職給付引当金	152,060	164,482
2 役員退職慰労引当金	—	325,673
連結調整勘定	128,538	161,530
2 その他	588,716	267,966
負債合計	9,178,914	8,274,983
(少数株主持分)		
少数株主持分	1,444	—
(資本の部)		
3 資本金	4,137,722	4,099,012
3 資本剰余金	3,999,522	3,960,812
利益剰余金	5,159,132	4,327,698
土地再評価差額金	△524,424	△524,424
その他有価証券評価差額金	97,459	279,915
為替換算調整勘定	115,240	△98,833
自己株式	△257	△257
資本合計	12,984,394	12,043,924
負債、少数株主持分及び資本合計	22,164,753	20,318,907

連結損益計算書 (単位:千円)

科目	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
4 売上高	31,177,256	27,718,376
売上原価	11,938,576	10,218,987
売上総利益	19,238,680	17,499,389
販売費及び一般管理費	17,531,987	15,876,655
営業利益	1,706,693	1,622,733
営業外収益	123,366	85,302
営業外費用	97,364	63,750
経常利益	1,732,694	1,644,284
5 特別利益	205,289	455,669
特別損失	64,425	119,547
税金等調整前当期純利益	1,873,559	1,980,406
5 法人税、住民税及び事業税	876,712	476,915
法人税等調整額	△106,797	△64,802
少数株主利益(△損失)	△1,439	91,715
当期純利益	1,105,084	1,476,577

point 4

挙式施設の開設を進めたことや前期に子会社化した目黒雅叙園の通年稼働により国内挙式の取扱組数が大幅に増加し、売上高は前期比12.5%増となりました。

point 5

保有有価証券の売却益などの特別利益が縮小したことや、前期に比べて法人税等の負担が増加したことにより、当期純利益は前期比25.2%減となりました。

point 6

財務活動によるキャッシュ・フローの変動は、主として前期において公募による株式の発行収入3,527百万円があったことによるものです。

連結剰余金計算書 (単位:千円)

科目	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	3,960,812	2,127,000
資本剰余金増加高	38,709	1,833,812
増資による新株の発行	—	1,762,900
新株予約権の行使による新株の発行	38,709	70,912
資本剰余金期末残高	3,999,522	3,960,812
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	4,327,698	3,059,757
利益剰余金増加高	1,105,084	1,476,577
当期純利益	1,105,084	1,476,577
利益剰余金減少高	273,650	208,635
配当金	244,950	208,635
取締役賞与金	28,700	—
利益剰余金期末残高	5,159,132	4,327,698

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:千円)

科目	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,280,592	1,844,004
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,893,164	△2,649,049
6 財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,885	2,733,142
現金及び現金同等物に係る換算差額	116,713	6,922
現金及び現金同等物の増加(△減少)額	△512,743	1,935,019
現金及び現金同等物の期首残高	5,242,574	3,307,554
現金及び現金同等物の期末残高	4,729,830	5,242,574

財務諸表の概要(単体)

貸借対照表 (単位:千円)

科目	当期 (平成18年3月31日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	4,348,700	5,354,799
1 現金及び預金	2,330,748	3,667,461
売掛金	773,357	650,923
たな卸資産	287,260	222,225
その他	972,870	822,207
貸倒引当金	△15,537	△ 8,018
固定資産	14,150,885	12,428,733
有形固定資産	8,065,333	6,831,829
貸衣裳	167,833	212,286
1 建物及び構築物	5,049,476	4,035,332
器具備品	746,492	697,084
土地	1,730,326	1,763,932
その他	371,205	123,194
無形固定資産	485,110	166,665
投資その他の資産	5,600,441	5,430,237
投資有価証券	302,436	618,602
差入保証金	2,395,999	2,212,808
その他	3,368,151	3,048,103
貸倒引当金	△466,145	△ 449,276
資産合計	18,499,585	17,783,532

損益計算書 (単位:千円)

科目	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
2 売上高	21,202,484	17,890,143
売上原価	10,708,623	8,773,059
売上総利益	10,493,860	9,117,084
販売費及び一般管理費	9,885,370	8,662,117
営業利益	608,490	454,966
営業外収益	319,704	264,629
営業外費用	47,399	48,007
経常利益	880,794	671,588
特別利益	204,408	442,515
特別損失	112,523	177,304
税引前当期純利益	972,679	936,799
法人税、住民税及び事業税	403,830	174,420
法人税等調整額	△27,045	189,644
当期純利益	595,893	572,733
前期繰越利益	594,087	460,768
合併による未処分利益受入額	17,296	—
中間配当額	117,632	88,635
当期末処分利益	1,089,645	944,866

科目	当期 (平成18年3月31日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	4,684,431	4,986,139
買掛金	1,274,362	1,216,712
1年内返済予定長期借入金	797,500	1,345,600
前受金	1,732,148	1,649,246
その他	880,419	774,580
固定負債	2,541,593	1,758,383
長期借入金	2,042,500	1,240,000
退職給付引当金	41,769	62,203
その他	457,324	456,179
負債合計	7,226,025	6,744,523
(資本の部)		
資本金	4,137,722	4,099,012
資本剰余金	3,999,522	3,960,812
利益剰余金	3,563,566	3,224,026
土地再評価差額金	△524,424	△ 524,424
その他有価証券評価差額金	97,431	279,839
自己株式	△257	△ 257
資本合計	11,273,560	11,039,009
負債及び資本合計	18,499,585	17,783,532

point 1

軽井沢挙式施設の新設等により現金及び預金が前期末より1,336百万円減少し、建物及び構築物が1,014百万円増加しました。

point 2

挙式施設の開設を進めたことと子会社との合併により国内挙式の取扱組数が大幅増となり、売上高は前期比18.5%増となりました。

会社概要

(平成18年3月31日現在)

- 商号
ワタベウェディング株式会社
- 本店所在地
京都市下京区烏丸通仏光寺上る
二帖半敷町671番地
- 設立
昭和39年10月3日
- 資本金
41億3,772万2,100円
- 従業員数 ※契約社員は含まれておりません
(単体) 424名
(連結) 1,429名
- 支社
ハワイ支社
オーストラリア支社
- 役員 (平成18年6月29日現在)
代表取締役社長 渡部 隆夫
常務取締役 島崎 昌彦
常務取締役 上田 勝己
取締役 川口 博司
取締役 渡部 秀敏
取締役 市橋 一昭
取締役(社外取締役) 平井 紀夫
常勤監査役 岩崎 久
監査役 藤本 壽雄
監査役(社外監査役) 清水 久雄
監査役(社外監査役) 工藤 雅史

株式情報

(平成18年3月31日現在)

株式の状況

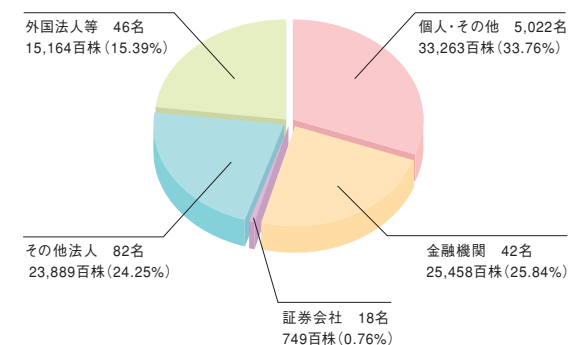
発行可能株式総数	22,000,000株
発行済株式総数	9,852,300株
株主数	5,210名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社寿泉	2,005,400	20.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	713,400	7.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	491,100	4.98
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505025	415,600	4.21
渡部 隆夫	290,800	2.95
日興シティ信託銀行株式会社	282,700	2.86
ワタベウェディング従業員持株会	265,700	2.69
野村信託銀行株式会社	217,700	2.20
有限会社シュー	200,000	2.02
ジェービーモルガンチェースバンク385050	197,900	2.00

(注)上記信託銀行の持株数は、すべて信託業務に係るものであります。

所有者別分布状況



株主ご優待のお知らせ

当社では、株主様への感謝の一環といたしまして、当社の商品・サービスをご利用いただけるご優待制度を設けております。

●対象株主様	平成18年3月31日現在の株主名簿に記載された株主様
●ご利用期間	平成18年7月1日から平成19年6月30日まで
●ご優待内容	(詳しいご優待内容につきましてはご優待券をご確認ください。)
●国内・海外直営挙式会場割引ご優待	・貸衣裳割引ご優待
・オリジナルドレス「アヴィカ」割引ご優待	・スタジオフォトプラン「花嫁物語」割引ご優待
・オリジナルタキシード「アヴィカオモ」割引ご優待	・国内・海外パッケージ旅行割引ご優待

株主優待CLOSE-UP 国内・海外直営挙式会場割引ご優待

当社グループは、国内外のグループネットワークを利用したきめ細かなサービスの提供と自社運営挙式施設の拡充により感動の思い出作りをお手伝いしています。当社では、当社グループだからできる株主様へのご優待特典として、国内・海外直営挙式会場での挙式が通常の5万円引にてご利用いただけるサービス等をご用意しております。



桜鶴苑



アフィーテ葉山



目黒雅叙園

Japan
国内直営挙式会場



神戸北野サッセン邸



コオリナ・チャペル・ブレイス
・オブ・ジョイ



セント・プロバス・ホーリー・チャペル

Overseas
海外直営挙式会場



セント・アンジェロ・チャペル



メルストニアン・チャペル

国内・海外直営挙式会場割引ご優待 利用可能会場一覧

【国内直営挙式会場】

北海道	アフィーテ函館
関東地区	目黒雅叙園 アフィーテ目黒 ルミアモーレ アフィーテ葉山 クリスタル グレイス チャペル
甲信越地区	軽井沢クリークガーデン
東海地区	伊豆高原教会
関西地区	カーニバルタイムズ 桜鶴苑 パレドゥシェル セント・アヴェンヌ教会 ワナファンガーデン みなと異人館 神戸北野サッセン邸 マーチュア・ガーデン神戸 カームサイド奈良
沖縄地区	アクアルーチェ・チャペル クルデスール・チャペル アクアグレイス・チャペル

【海外直営挙式会場】

ハワイ	コオリナ・チャペル・ブレイス・オブ・ジョイ アクアベール・フレ・マリナー・コオリナ・ル・ブラージュ ジョン・ドミニス・チャペル・バイ・ザ・シー アロハ・ケ・アクア・チャペル
グアム	セント・プロバス・ホーリー・チャペル サンビトレス・ベイサイド・チャペル セント・グレイス・バイ・ザ・シー ディラネーロ・チャペル セント・レオ・チャペル
サイパン	セント・アンジェロ・チャペル
オーストラリア	メルストニアン・チャペル サンクチュアリー・コブ・チャペル パリアリーフ・チャーチ
中国	花園飯店「アイリスの間」

《事業報告書・株主ご優待の内容に関するお問い合わせ先》ワタベウェディング株式会社 株式課 TEL 075-352-4111 (代)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料) 0120-094-777
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行のフリーダイヤル
およびインターネットでも24時間承っております。

電話(通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>



WATABE
WEDDING

ワタベウェディング株式会社

本社 〒600-8540 京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半敷町671番地
TEL (075) 352-4111 (代) FAX (075) 352-4139 (代)

<http://www.watabe-wedding.co.jp>